

# FUJI教育基金のあゆみ 1996～2025年

解散総会にあたって

2025年2月18日

## FUJI教育基金1996～2025年の実績

- 奨学金を贈った**生徒・学生数**.....約**6,500**人
- 贈った**奨学金額**.....約**100億**ベトナムドン
- **学校数**は大学2校、高校3校、中学5校 .....合計**10**校
- ご**寄付**いただいた方.....**150**人以上

＊) 複数で一括ご寄付いただいた方々の個々のお名前は記録できていません。  
何回もご寄付いただいた方が多数おられます。

## 基金設立の前史 (1991～1995年)

日本在住の4人の元ベトナム人日本留学生が、1991年から、**カントー大学農学部学生20名**に毎年奨学金を授与し始める。母国ベトナムのカントー大学では、経済的困難のために中途退学せざるをえない学生が少なくない、という状態を見かねた。



1995年：カントー市の様子

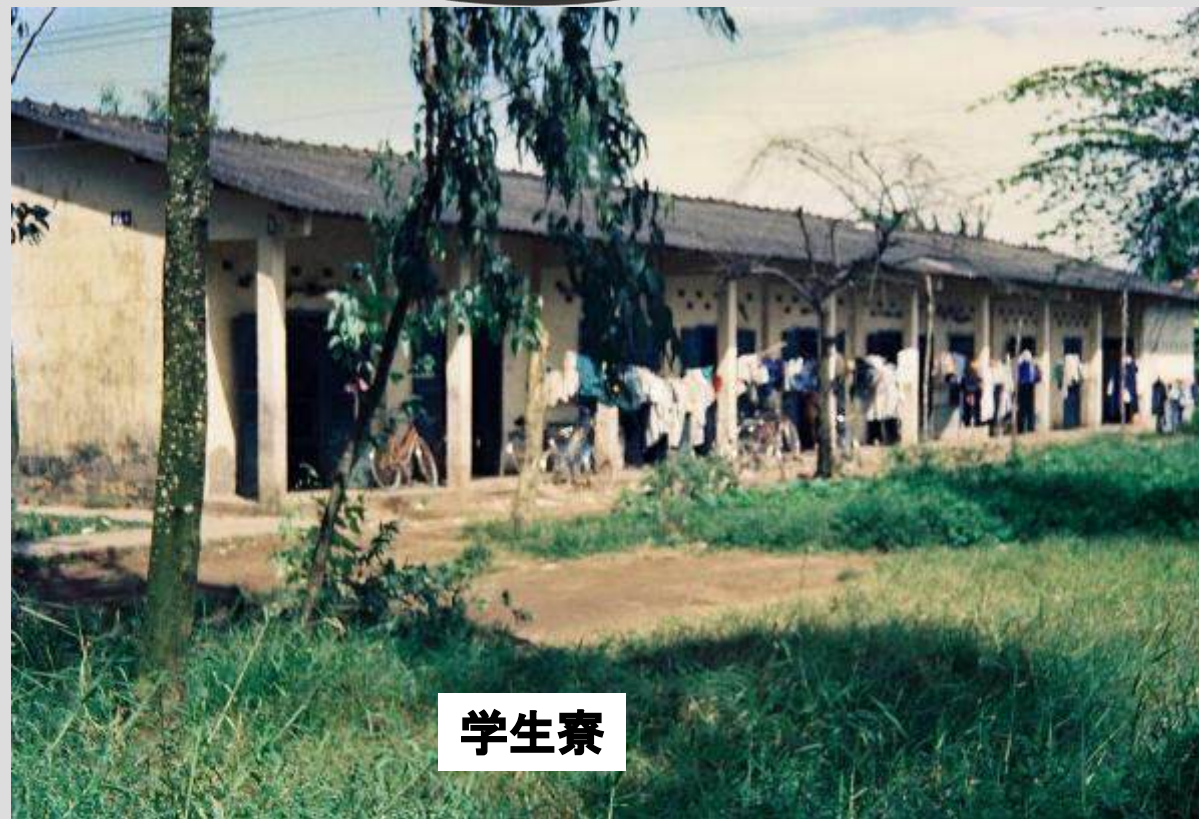


←クリスマスの飾り





校舎



学生寮



キム学部長と

1995年  
チャウドック  
の様子



1995年のツ・コア・ギア中高校（チャウドック）



## FUJI教育基金の誕生 (1996年)

# FUJI奨学基金としてスタート

貧しいがゆえに進学できなかったり、途中で通学を断念せざるをえない、ベトナムの子どもたちが勉強をつづけられるよう支援する。

10人が発起人となり、一定金額を基金として拠出し、その運用益を奨学金として給付する「FUJI奨学基金」を設立。

継続的・安定的に奨学金の給付を行う。

確実に生徒・学生の手へ渡ることが条件。

呼び掛け人名簿

| No | 名前         | 所属            | 登録日        | 役職      |
|----|------------|---------------|------------|---------|
| 1  | 出井富美       | アジア経済研究所      | 1996.12.20 |         |
| 2  | 齋藤 博       | NTT出版(株)      | 1996.12.20 | 事務・会計   |
| 3  | 鈴木謙二       | (株)ピロタス       | 1996.12.20 |         |
| 4  | タイ・アン・トウアン | 新生            | 1996.12.20 |         |
| 5  | ダオ・チ・ミン    | (株)ピロタス       | 1996.12.20 |         |
| 6  | ト・フー・ルーン   | (株)ピロタス       | 1996.12.20 | ベトナム側代表 |
| 7  | 平賀光雄       |               | 1996.12.20 | 会計監査    |
| 8  | ファン・マン・カー  | 日本ボール(株)      | 1996.12.20 | 日本側代表   |
| 9  | フイ・チ・トルン   | (財)豊田市国際交流協会  | 1996.12.20 |         |
| 10 | 宮島安世       | 国会図書館(内線2518) | 1996.12.20 |         |

寄付を呼びかけると、すぐに7人の賛同を得られ、数百万円の基金でスタート。

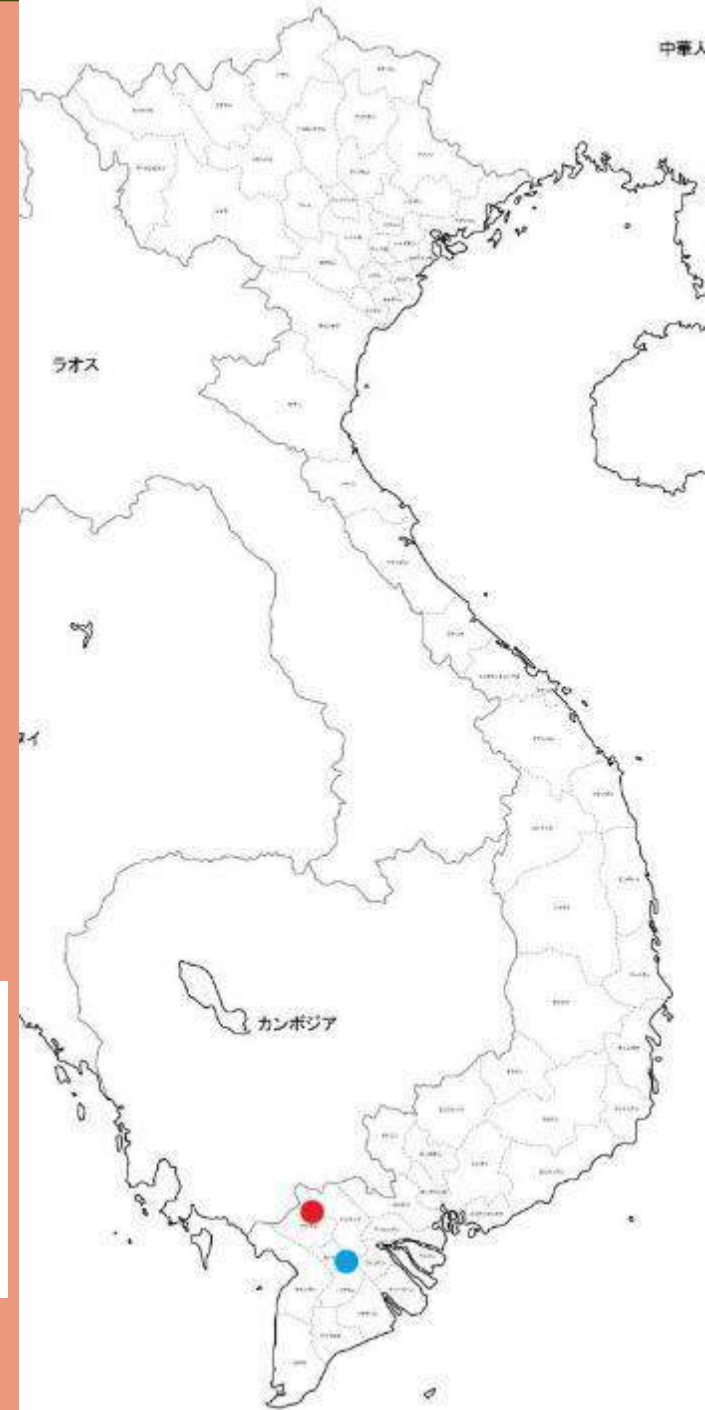
## 南部で奨学金授与を開始（1996年）

**カントー大学農学部**への奨学金授与に加え、  
ベトナム南部アンザン省チャウドック市の  
**ツ・コア・ギア中高校**へ奨学金授与を開始。

カントー大学（5万ドン×10ヶ月×36人）＝1,800万ドン

TKN中高校（2.5万ドン×9ヶ月×72人）＝1,620万ドン

1年間に、**108人**の生徒・学生へ、計3,420万ドン（**約17万円**）



# ご寄付いただいた方：1996～2025年（154人以上）

\* 何回も寄付していただいた方が多数おられます。何人かでまとめてご寄付いただいた方のお名前は記録できていません。

|              |                 |             |                |           |             |
|--------------|-----------------|-------------|----------------|-----------|-------------|
| 相場義憲         | 神野 浩            | 佐藤幸太郎       | 武中洋勝           | 日野宏恵      | 宮内一徳        |
| アジア人権基金      | 神田尚俊            | 佐藤彰啓        | ダン・アン・ゴク       | 平岡博幸      | 宮下八重子       |
| 安宅俊夫         | 神田修二            | 佐藤千香一家      | チャウ・ザウ         | 平賀光雄      | 宮島安世        |
| 阿部咲子         | 菊池博子            | 佐藤正子        | チャン・ティ・ミー・ハン   | 平田綾子      | 宮田正信        |
| 安藤由布樹        | 北山夏季            | 佐野真弥子       | 塚本良則           | 平田 熙      | 宮本典子        |
| 出井富美         | 木村民代            | 佐野良子        | 辻 康子           | 比留間厚一・道子  | 宮本依里子       |
| 岩田勝哉         | 木村秀三            | 佐野吉伸        | 時田節子           | 株式会社ヒロタス  | 向山文雄        |
| 上野タケ子        | グエン・ティ・タイ・アン    | 塩谷哲夫        | 時田勉            | ファム・ラン・アン | 森川和子        |
| 浴永好子         | グエン・ティ・トゥイ・ガー   | 清水谷子        | ト・ブー・ルーン       | ファン・マン・カー | 森田克也        |
| エイボン女性文化センター | グエン・フー・トゥアン     | 清水幸福（フック）   | ド・ホン・バン        | ブイ・チ・トルン  | 森戸規子        |
| 大石芳野         | グエン・フー・トゥアン     | 志村 勲        | トラン・ティ・キエム・チ   | 福原敏彦      | 森戸 哲        |
| 大阪IIゾンタクラブ   | グエン・フー・ロン（阮 友竜） | 下田博之        | 永井一子           | 藤田幸雄      | 矢ヶ崎一三       |
| 大田幸子         | グエン・ミン・チョン      | 白金良男        | 中田公昭           | 藤村慶八      | 安富六郎        |
| 太田祐子         | グエン・ミン・チョン      | 新城          | 中西省吾           | 藤村知子      | 山内劉子        |
| 大塚和信         | 久保道男            | 鈴木譲二        | 中村 考           | ホ・シ・ハン    | 山縣敏子        |
| 大貫佐一郎        | 神津玲子            | 鈴木よ志子       | 西村 強           | 本間 慎      | 山崎清司        |
| 荻原 勲         | 向野幾世            | タイ・アイン・トゥアン | 新川順子           | 幕田保男      | 山下 稔        |
| 小口陽子         | 河野文雄            | タイ・ティ・ミー    | 新田毅            | 町田保夫      | 山中美津子       |
| 小倉恭二郎        | ゴック(男)&バン(女)    | 大和 修        | 農工大ベトナム留学生・友人  | 松田美智恵     | 山中公一        |
| 小倉くら子        | 小山タオ            | ダオ・ティ・ミン    | 野口淳平           | 松永実姫子     | 横井久美子       |
| 梶井 功         | 近藤 昇            | ダオ・フー・ユン    | 野村寿子           | 松野日和・華実   | 頼経健治        |
| 片山義博         | 齋藤 博            | 高橋明善        | MS.PARK HWAJIN | 松本正雄      | レートゥオン      |
| 葛城菊代         | 坂井瑛子            | 高橋（中西）和泉    | ハイ・コイ          | 丸田定子      | レ・グエット・ハイニン |
| 加藤静子         | 阪上信次            | 高橋延匡        | 畑中孝晴           | 丸田康子      | 渡辺直吉        |
| 加藤福和（フック）    | 下り藤             | 瀧本健雄        | 幡山玲子           | 丸吉 せい子    |             |
| 鎌田寿彦         | 笹尾 彰            | 竹内弘房        | 浜田竜之介          | 水間 豊      |             |

## 奨学金授与の旅が始まる (2000年)



**カントー大学農学部**を訪問。



# 奨学金授与の旅が始まる (2000年)

ツ・コア・ギア中高校(TKN)を訪問。



## 2002年当時のFUJI奨学基金の規模

- \* 2001.9.24 カントー大学 18,000,000ドン (36名×500,000ドン [約4,000円])
- \* 2001.9.22 TKN校 17,100,000ドン (76名×225,000ドン [約1,800円])  
学用品 1,700,000ドン [約13,300円]

2001-2002年度奨学金は、**112名に、約29万円を贈呈しました。**

2002.6.29時点の基金

**790万円 相当のベトナム銀行預金**

2002.9～2003.6奨学金可能額 約 50,855,276ドン (**約40万円**)

(1ドル=120円=15,270ドン。2002年6月レートで換算)

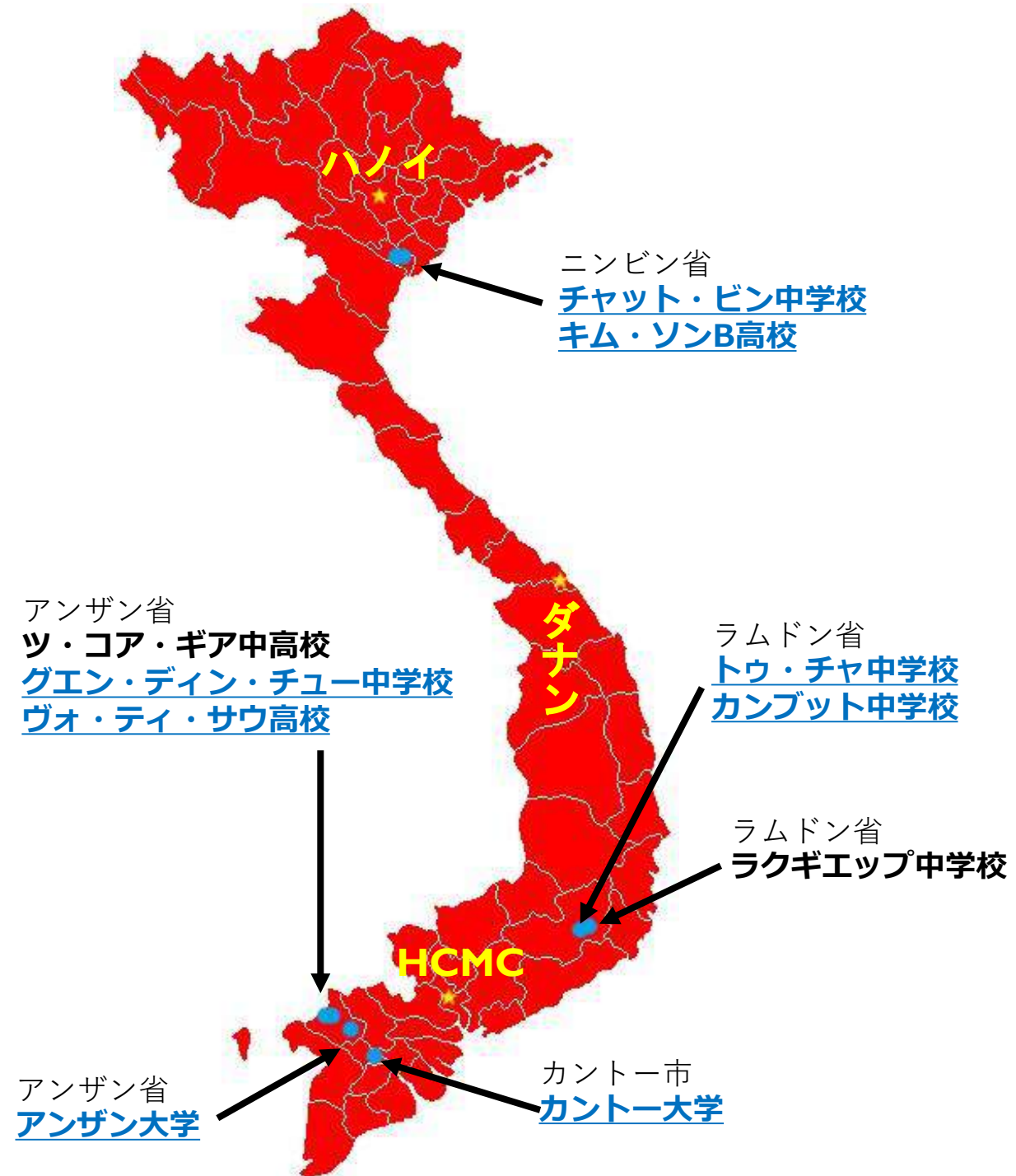
## 奨学金授与校の拡大を模索

基金規模を拡大し、

南部以外の奨学金授与校を増やす。

そのために、さらに寄付を集める。

2000年から「奨学金授与の旅」を毎年実施。



## 南部の中学 (2002年)

グエン・ディン・チュー中学校 (NDC) が、  
ツ・コア・ギア中高校から分離 (同じ敷地)。



**北部にも**

**北部に奨学金授与対象校を広げる。**

## 北部の新しい中学校 (2002年)

ベトナム北部ニンビン省キムソン郡チャットビン村の  
**チャット・ビン中学校** に奨学金授与を開始。



チャットビン中学の奨学生たち

# ベンチェプロジェクト開始（2006年）

ベトナム南部ベンチェ省の障害をもつ女性たちが経済的自立するために、**刺繍技術の指導及び食費等の支援**を決定。

大石芳野顧問を通じ“ベンチェ貧困患者と障害者を支援する会”からの支援要請を受け、宮本典子会員ら数人の会員でプロジェクトを実施、**ベンチェ特別支援学校卒業生のための刺繍教室を支援**する。日本人に合う、いくつかの**デザインを提案**（児玉房子、憲法9条のポスターなど）して**刺繍教室で製作し、日本で販売して売上金を支援**する。

2010-2011年度でプロジェクトを終結し、「独立」。

<https://fuji-qhb.org/project/BenTreProject.html>



製作した刺繍を  
日本で販売



## FUJI教育基金へ名称変更(2006年)

ベンチエプロジェクト開始に伴い、  
従来の奨学金授与活動に加え、  
より広く教育環境面への支援もできるよう、  
当基金の名称を「FUJI奨学基金」から「FUJI教育基金」に変更。  
(会則の改定)

## 南部のあらたな大学 (2006年)

ヴォ・トン・スアン学長(国際的に著名な農学博士)との縁で、**アンザン大学農学部**に奨学金授与を開始。アンザン大学は、メコンデルタでカントー大学に次ぐ2つ目の総合大学。



ヴォ・トン・スアン先生  
([2024年8月逝去](#))



## 南部の新しい高校 (2008年)

チャウドック市**ヴォ・ティ・サウ高校 (VTS)**に奨学金授与を開始。

ツ・コア・ギア高校への奨学金は、**2009-2010年度**で終了。



2017年



## 北部の新しい高校 (2011年)

ベトナム北部ニンビン省キムソン郡にある  
**キム・ソンB高校**に奨学金授与を開始。



2012年キム・ソンB高校



## 中部にも

中部に奨学金授与対象校を広げる。

## 中部の新しい中学校 (2015年)

ベトナム南中部高原地方ラムドン省にある  
**ラク・ギエップ中学校**に奨学金授与を開始。  
2016-2017年度は実施の条件が整わず中止。



## 中部の新たな2中学校 (2016年)

ラムドン省ドンズオン郡にある2つの中学校への  
奨学金授与を開始。

**カンブット中学校**



## 中部の新たな 2 中学校 (2016年)

ラムドン省ドンズオン郡にある 2 つの中学校への奨学金  
授与を開始。

**トウ・チャ中学校**



# 奨学生の家庭訪問（北部・南部の中高）

路地に入り、クランク状に曲がると、路地はさらに狭くなり、大きなネズミが動き回る。1人がやっと通れる「隙間」に入っていく。その突き当りが奨学生の家だった。入口の前にコンロがあり、ここが台所らしい。トタン板囲みの家は、2012年に国の助成（2,000万ドン）で建て替えた。床面積は3平方メートルのみ。部屋の正面には仏壇が飾られ、その右側に鍋やフライパンがかかり、食器や調味料などが整然と置かれているだけで、家具は見当たらない。着物は棧にかけた棒に吊るしてある。その脇に急な階段があって、2階を継ぎ足し、そこで寝ているようだ



ブロックを積んで、室内側だけセメントで表面を平らにした3×4メートルぐらいの四角い1部屋。天井はなくて、スレートがかぶせてある屋根は南国の陽が照りつける。ベッドが2台と、1.8×0.9メートルぐらいのテーブルが1台。片隅にはガスコンロと鍋が載った小さな台、台の下には埃をかぶった電気炊飯器にコップ類がある。

## FUJIの今後についての議論

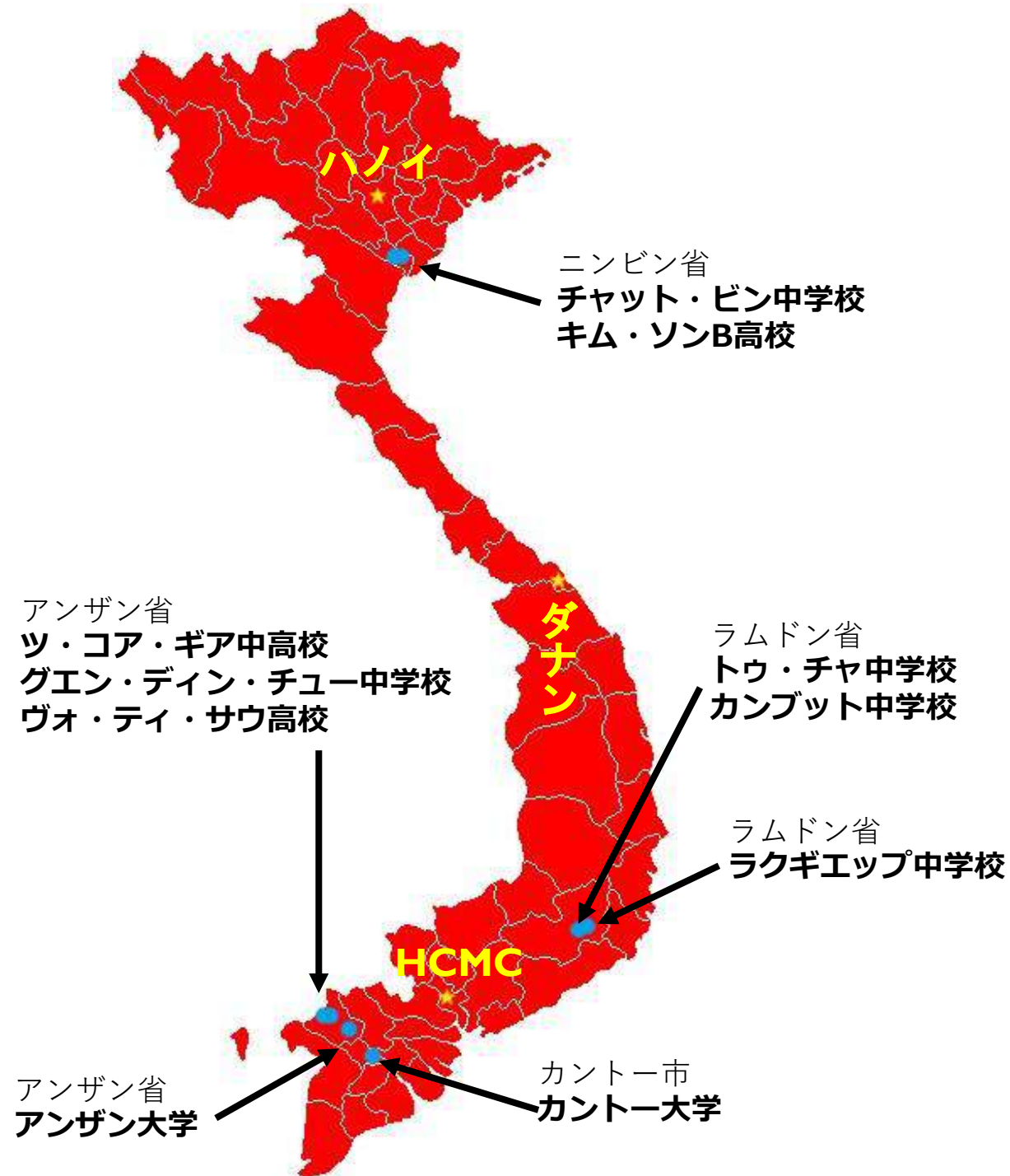
南部・中部・北部に授与校をつくれたが、

しのびよる高齢化

若い担い手を迎え入れることができない

預金しているベトナム銀行の信用低下

利息収入が逡減傾向



# 2025年をめどに解散を決定 (2017年)

- 前2016-2017年度から、運用益のみでは授与奨学金のすべてを賄いきれず、**基金を一部取り崩す事態**。
- 今後も年率4%程度の物価上昇を前提に、奨学金の規模・実質水準を維持していこうとすると、これまで当基金が実施してきた**《積立金（基金）の運用益＝利子に依拠した奨学金授与活動》は不可能**。
- この、いわゆる「逆ザヤ現象」は今後さらに拡大する方向にあり、シミュレーションでは、**10年後には基金をすべて使い切る**ことになる。
- **後継者不足・会員の高齢化**により、“最後まで「基金」の行く末（最後）を見届けたい！”との声に集約。

「生徒・学生の勉学条件をより整え、2025年までに計画的に基金を取り崩して、毎年の奨学金等にあてる。  
授与対象は、従来の方針を変更しないことを原則とする」ことを決定。

# 新型コロナウイルスのパンデミック

2019年末、中国・武漢市で最初の患者が報告されたあと瞬く間に  
新型コロナウイルスが世界中に感染拡大し、2020年から2023年春ごろまで、  
都市や地域のロックダウン、外出制限が行われる。

## 学校の状況

学校の新年度の準備は、**役割分担や授業計画作成などはすべてオンライン**で行われます。

しかし、人の移動が許されていないので、設備の調整、修理などどうしても直接作業しなければならないことは、移動が許可されるまで待たなければなりません。

**移動制限のために、チャウドック市以外の場所にいる教職員やスタッフ35人は、学校に戻ることができていません。**

新年度入学予定の6年生は約80名減少し、その結果、前年度の42学級から40学級へと、2学級減少しました。

また、300名の生徒が実家で親や祖父母と一緒に生活していて、チャウドック市に戻って来られません。

**約180名の生徒はコンピュータ、スマートホン、wifi などが無い環境にいるため、オンライン授業を行う場合、勉強は困難です。**

皆様ご承知のとおり、Covid-19の世界的流行によって全世界の経済・国民生活は大きな影響を受けていますが、特にトゥ・チャ地域では地元農産物の価格が下落し、また、農産物を生産しても売れず、苦しい生活を余儀なくされています。

当校の生徒たちにおいても経済的に難しい家庭が増えており、校長としては、一人でも多くの生徒が学校へ来られるような条件を作りたいと考えています。

そこで、FUJI教育基金からいただく60名分の奨学金総額を90名の生徒に分けて差し上げた  
く、お願いします。

トゥ・チャ中(ラムドン省) 2020.9

99

ヴォ・ティ・サウ高校の貧しい家庭の生徒たちは、普段宝くじを売って家庭の生計の足しにしていますが、新型コロナウイルスの影響で、それが数か月間できなくなりました。

学校は、そうした生徒25名を支援しようと募金を募り、1人当たりお米10kgを提供しました。



VTS高(チャウドック) 2020.5



# 最後の奨学金授与と最後の授与の旅

2023年に北部・中部の学校  
2024年に、南部の学校

2019年10月以来、2023年10月に4年ぶりに再開したFUJI教育基金代表団が訪越・出席しての奨学金授与の旅は、「**最後の奨学金授与の旅 (北部・中部)**」でした。それだけに学校側の歓迎ぶりは心温まるものでした。

代表団到着時から、各校では♪**ARIGATO FUJI**♪（ハイ・イエーン作詞・作曲）の歌が流されるなど、学校側の歓迎一色の雰囲気、代表団も感極まり、終始心揺さぶられる思いでした。最後のお別れ時にはまさに後ろ髪を引かれる思いで生徒たちとの別れを惜しみました。

2024年10月にはFUJI教育基金の「**最後の奨学金授与の旅 (南部)**」を実施しました。“最後だから”と20名の会員・協力者等が参加してくれました。

南部ではいつもとは違い、各校の奨学生たちが神妙な面持ちで整列して代表団を迎えてくれました。式典・交流会では奨学生代表が♪**ARIGATO FUJI**♪の歌を斉唱してくれ、最後は参加者みんなの大合唱となりました。

どんな言葉よりも“ARIGATO”は双方の想いを表す最高の言葉になりました。

## 北部校での最後の奨学金授与の旅（2023年10月）



## 中部校での最後の奨学金授与の旅（2023年10月）



## 北部校での最後の奨学金授与式（2024年10月）

チャット・ビン中学校



キム・ソンB高校



# ARIGATO FUJI : カントー大学 (2024年10月)



## 歓迎の出迎え：VTS高校（2024年10月）





ハノイから来てくれた  
ヴィンさん夫妻



## 各校への記念品進呈（木村民代さん作・友禅染めの額装）



# ARIGATO FUJI : NDC-VTS (2024年10月)



**解散**

## 感謝（2015年から、北部・南部の奨学金授与の旅に同行）

### ハイ・イエン（singer Hai Yen ; Hải Yến）さん

ベトナム青少年劇場（Nhà hát Tuổi trẻ）所属の歌手。

若いころから、ナイチンゲール・チーム、ハノイ子ども宮殿、ソンカ・チーム、ベトナムの声（タン・ラム、ホン・ニョンなどと共演）で活動。

ドラえもん、ドナルドダック、チム・トゥイティ、Cho trai dat xanh…など、子供向けの歌も数多く、外国語（約30か国以上）で歌える歌手としても知られている。

<https://youtu.be/ajCMrKA1x88?si=P7d4v2mmDcrQMbAA>

### グエン・テ・ヴィン（Nguyen The Vinh）さん

1977年、軍事芸術学校（現軍事文化芸術大学）の単弦楽器（一弦琴；ダンバウ）科卒業。

1978年から総政治局歌舞団（現軍事歌舞劇場）で活動。1979年の国境紛争の前後、南西部国境と北部国境全域で軍のために演奏。

1982年から青年劇場に所属しオーケストラでドラムを演奏、1996年から青年劇場の渉外および管理を担当、2001年から外務副部長を務めた。

2012-17年：ベトナム国立演劇劇場（Nhà hát Kịch Việt Nam）支配人となり、劇場の再建と若手アーティストの育成に尽くした（<https://qr.paps.jp/UNWoS>）。

<https://www.youtube.com/channel/UCb4mTEh9wa36nTieprPn4WA>

FUJI教育基金の記録は2030年まで、下記のサイトから見ることができます。

2005年10月25日～2012年4月19日「ベトナムの子どもたちに奨学金を——F U J I 教育基金」

<https://blog.goo.ne.jp/fuji-qhb/12>

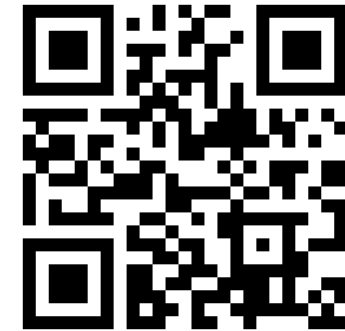


2000年9月～2014年10月 旧HP「FUJI教育基金」 <https://fuji-qhb.org>



新HP 「FUJI教育基金」

<https://new.fuji-qhb.org>



パスワードの入力を求められたら、  
2014FUJI  
と入れてください。